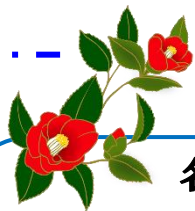


会員の声



名水探訪に参加して

赤羽 京子

今年度はどの講座を受講しようかな？「名水探訪」という文字に惹かれた。しかも広い富山県の各地をバスで東西南北連れて行ってもらえるというこの講座がまず目にとまった。よし今年は、これでいこう！自遊塾の中の人気講座とのことだったが、幸いにも受講することができた。この講座をきっかけにNPOのことも知った。

富山の各地を数か所ずつ巡ったが、湧水地のなんと多いこと。私が知らないだけで、そこには歴史的な由来があり大切な水として守られてきた箇所もたくさんあることを知った。そして、富山の地形が美味しい水を生み出し農産物を育てていることを強く実感し、私たちが自然の恵みによって生かされているということが心に残った。回を重ね美味しい水を巡りその地の美味しい〇〇も求めて、ますます参加したい気持ちになってきた。次回が楽しみだ。

名水探訪に寄せて

松本 敦子

立山連峰をはじめとする山々に降る雨や雪は伏流水となり、地中を流れる間に浄化され富山のおいしい水として湧き出す。この湧水は昔から人々に親しまれ、生活を支えてきた。これらに思いを巡らすとき、自然の不思議と大地の恵みに感謝の気持ちがわいてくる。また、富山県全域に点在する名水を訪れ、保全に努める活動はとても意義深いとも思った。

円筒分水場、米騒動発祥の地、源平合戦頃の言い伝えやいわれなど歴史的な遺産。平野を背景に走る新幹線。最新の技術が汲み上げられる深層水。昔から最新までが混在しているのも興味深かった。

気さくに声掛けしてくださった会の皆さん、名水探訪を計画しプリントや食事などお世話してくださる会長さんはじめ役員の皆さんに感謝です。



「目からウロコ」の名水めぐり

萩中 由佳子

富山県民カレッジ講座で県内の名水めぐりに参加させていただいた。私はといえば、生まれてこのかた富山県内でずっと生活している。いわば“富山の水で育った富山〇人”というわけである。

確か子供の頃は、家の前にポンプ式の井戸があり、母や祖母の手伝いで水くみをさせられた思い出がある。しかし、いつのまにか生活が変わり、今ではひねると豊富に出る水道水をあたりまえのように感じてしまっている。私は富山の水道水はすばらしい！と思っているので、“名水”ということに対して、ことさらに気持ちは実はなかったのである。(すみません…)

そんな私にとって、名水めぐりはまさに目からウロコ！であった。なんと富山県には名水といわれる場所が多いことか！そして、立山から海まで広く点在している！そして、その名水が、自然が、富山の食や文化と密接に関わっていることをこの講座でよくわかった。毎回の楽しみは、名水とその周辺のすばらしい自然、そして各地で味わう食や名産。家族と土産話をしみつつ、富山の自然やそれらを守っている方々に今日も感謝をする。

いたち川沿いの清掃に参加して

村上 眞里子

「富山の名水を守る会」に加入して、10年が過ぎました。その間、総会といたち川沿いの清掃への参加で数回。そして、名水探訪に少し参加するようになったところです。

いたち川沿いは、所々の井戸もきれいに清掃され、毎回町内の方々のお世話ぶりを感じます。川べりは、緑も多く気持ちの良い散歩コースです。水神さんからずーと石倉町の延命地蔵に来ると、相変わらず多くの人が水汲みに来ておられます。ペットボトルの人、ポリタンクの人、散歩中の人などが利用されています。実は、私も時々、お地蔵さまのお水を戴いております。コーヒーを入れるとやわらかな旨味に、一人悦に入っています。

これからは、昔からの井戸水を大切にしていってこのあふれる宝を未来へと繋ぐために、自分に何が出来るかを意識しながら、参加していきたいと思えます。

